

金山町立金山中学校 第5号

学校だより

令和5年7月20日発行
発行責任者:金山中学校長

3年生が修学旅行に行ってきました 「歴史や漁業を学んで食べて楽しんで! ~4人が割る1ページ~」

7月4日(火)~6日(木)、3年生4名は修学旅行で北陸方面を訪れてきました。修学旅行では、集団行動を通して規律の必要性を理解し正しい公衆道徳を身に付けることや、行動・生活を共にすることで互いを理解し合うこと、改めて郷土や自然の素晴らしさに気づくことを目的としています。3日間の旅行中、ルールを守り、マナーを守り、時間を守り抜いた3年生でした。一つ一つの行動、立ち振る舞いが大変素晴らしく、各施設の方々からもお褒めの言葉をいただきました。旅行で培った様々な力を、今後の金山中、そして将来の金山町のために発揮してくれるものと信じております。なお、今回の修学旅行に掛かる宿泊経費や各施設入館料、体験料等の経費を金山町に助成していただきました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

- 1日目 学校……魚津水族館……兼六園……ひがし茶屋街散策……ホテル
2日目 ホテル……石川県立大学(講義・実験)……箔一本店(金箔体験)……
……近江町市場……金沢城公園……金沢21世紀美術館・石浦神社……ホテル
3日目 ホテル……氷見漁港(釣り・かまぼこ絵付け・海鳥餌付け)……氷見番屋街……学校



2年生が宿泊学習で新潟市に行ってきました！！

7月12日(水)・13日(木)、2年生9名は、宿泊学習のため新潟市を訪問しました。実施の目的は、公衆道徳や集団生活に必要なモラルや社会性を養うこと、地域の成り立ちや社会のしくみについて理解を深めることです。2日間の行程において、生徒一人一人が自主的に行動し、また友だちを思いやりながら協力して集団行動するなど、「金中生らしさ」が随所で発揮されました。

1日目 学校……新潟市歴史博物館(みなとびあ) …

…班別企業訪問(新潟県庁、新潟せんべい王国、新潟消防局 中央消防署) ……ホテル

2日目 ホテル……班別街歩き(新潟市内) …新潟県立自然科学館……学校



ユニバーサルデザインをさらに広げて

「特別支援教育」とは、障害のある子どもたちが、将来自らの力で生活できるよう、サポートを受けながらも幸せな生活ができるように、一人一人の持っている力を高め、生活や学習上で難しいことを改善または克服するために適切な教育を行うことです。特別支援教育では、先生が子どもたちに少し時間を掛けたり、サポートしたりして勉強を丁寧に教えています。そうすることで子どもたちが違った力を発揮できることもたくさんあり、努力することの大切さが分かります。

先日開催された「ウィンブルドン選手権」車いすの部の男子シングルスで、小田凱人選手(17)が見事最年少で優勝されました。ウィンブルドンの車いす男子シングルスで優勝した日本人は、国枝慎吾さんに続き2人目です。日頃から強い意志と覚悟をもって戦うパラアスリートの姿から、たくさんの勇気と感動を感じます。また、障害を克服してなお自らの記録更新を目指して練習に励むパラアスリートの姿とともに、パラスポーツを支援する人たちから学ぶことはとても多いです。

「ユニバーサルデザイン」とは、「すべての人々のためのデザイン」という意味があります。年齢や性別、障害の有無や体格、国籍に関わりなく、出来るだけ多くの人が使いやすく分かりやすくデザインすることを言います。私たちは一人一人顔が違うように、同じ人は二人といません。また、誰もが自分の人生を幸せに生きる権利を持っています。ところが、障害のある人にとっては、同じ環境で生活することが難しく、苦勞が多すぎることもあり、解消のために様々な努力を多くの方が考え実行しています。障害の有無に関わらず、共に力を合わせて生活できる真の「共生社会」が実現されるため、ユニバーサルデザインの考え方がさらに広がり、心のバリアフリーが浸透することを望みます。